



平成 27 年 3 月 17 日

各 位

会 社 名 株式会社エムケイシステム  
代 表 者 名 代表取締役社長 三宅 登  
(コード番号：3910 東証JASDAQ スタンダード)  
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 朝倉 嘉嗣  
(TEL. 06-7222-3394)

### 東京証券取引所 J A S D A Q への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成27年3月17日に東京証券取引所 J A S D A Q 市場スタンダードに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしく申し上げます。  
なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【個別】 (単位：百万円、%)

項目	平成27年3月期 (予想)			平成27年3月期 第3四半期累計期間 (実績)		平成26年3月期 (実績)	
		構成比	対前期増減率		構成比		構成比
売 上 高	756	100.0	12.3	562	100.0	674	100.0
営 業 利 益	196	25.9	7.9	165	29.4	181	27.0
経 常 利 益	193	25.6	8.7	164	29.2	177	26.4
当期(四半期)純利益	129	17.1	4.3	100	17.9	123	18.4
1株当たり当期(四半期)純利益	299円19銭			235円30銭		300円62銭	
1株当たり配当金	50円00銭			1円1銭		0円00銭	

- (注) 1. 当社は連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。  
2. 平成26年3月期(実績)及び平成27年3月期第3四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。  
3. 平成27年3月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募株式数(80,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分(最大21,000株)は含まれておりません。  
4. 当社は平成26年7月31日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っておりますが、平成26年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算出しております。

本資料に記載されている当社の当期の業績見通しは、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以上



## 平成 27 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成 27 年 3 月 17 日

上場会社名 株式会社エムケイシステム 上場取引所 東  
 コード番号 3910 URL http://www.mks.jp  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 三宅 登  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経営企画室長（氏名） 朝倉 嘉嗣 TEL 06-7222-3394  
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成27年3月期第3四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

（1）経営成績 （%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	562	—	165	—	164	—	100	—
26年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	235 30	— —
26年3月期第3四半期	— —	— —

- （注） 1. 当社は、平成26年7月31日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、第27期第3四半期累計期間は潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
3. 当社は、四半期の業績開示を行っていないため、平成26年3月期第3四半期の記載及び平成27年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載はしていません。

### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	601	393	65.4
26年3月期	572	292	51.1

（参考）自己資本 27年3月期第3四半期 393百万円 26年3月期 292百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

（注） 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	756	12.3	196	7.9	193	8.7	129	4.3	299 19

- （注） 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2. 当社は、平成26年7月31日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。上記では平成27年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	428,800株	26年3月期	428,800株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	－株	26年3月期	－株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	428,800株	26年3月期3Q	－株

- (注) 1. 当社は、平成26年3月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、「期中平均株式数(四半期累計)」を記載しておりません。
2. 当社は、平成26年7月31日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割がわれたものと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、4月には消費税率引上げに伴い弱い動きが見られたものの、全体としては緩やかな回復基調となりました。

当社の主要顧客である社会保険労務士業界におきましては、政府が主導するe-Gov申請手続き及びマイナンバー制度への対応上、これを契機に申請手続きシステムを導入する事務所数が増加し、当社にとってはフォローの外部環境となりました。

この様な状況のもと、当社主催のセミナー等を通じて、クラウドコンピューティングによるASPサービスへの移行を推進し、顧客開拓を行った結果、ASPサービスは、主力の「ネットde社労夢」「社労夢ハウス」「ネットde事務組合」が堅調に推移し、ASPサービスの売上高は415,828千円となりました。

また、システム構築サービスは、初期設定サービスが概ね堅調に推移する中、社労夢システムのカスタマイズ売上が好調に推移し、その結果、システム構築サービス売上高は62,168千円となり、クラウドサービス全体の売上高は477,997千円となりました。

システム商品販売につきましては、サプライ商品販売が伸び悩む中、大型システム案件の受注によるシステム機器販売が寄与し、商品の売上高は84,378千円となりました。

以上の結果、売上高は562,376千円となり、売上総利益は396,945千円、営業利益は165,274千円、経常利益は164,020千円、四半期純利益は100,895千円となりました。

なお、当社の事業は、単一のセグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末と比べ43,367千円減少し、423,424千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少60,349千円、売掛金の増加14,939千円があったことによるものです。

#### (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末と比べ72,603千円増加し、178,126千円となりました。これは主に、建物の増加5,210千円、建設仮勘定の増加40,462千円、ソフトウェアの増加11,931千円、ソフトウェア仮勘定の増加3,200千円、差入保証金の増加10,552千円があったことによるものです。

#### (流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末と比べ52,867千円減少し、127,247千円となりました。これは主に、未払法人税等の減少29,495千円、短期借入金の減少30,000千円、買掛金の減少1,835千円、未払消費税の増加11,121千円があったことによるものです。

#### (固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末と比べ18,791千円減少し、80,731千円となりました。これは、長期借入金の減少13,336千円、リース債務の減少5,455千円があったことによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末と比べ100,895千円増加し、393,571千円となりました。これは、四半期純利益100,895千円があったことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成27年3月期の業績予想につきましては、紹介キャンペーン等の販促策による効果、及びe-Gov進展に伴う電子手続申請の導入機運の高まりにより、ASPサービスの主力である「ネットde社労夢」、「社労夢ハウス」のユーザ数が継続的に増加し、前事業年度に比べて売上が増加すると予想されるため、売上高756百万円(前事業年度比12.3%)、営業利益196百万円(同7.9%)、経常利益193百万円(同8.7%)、当期純利益129百万円(同4.3%)を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	342,968	282,619
売掛金	108,221	123,161
商品	3,915	4,703
貯蔵品	85	368
前払費用	3,497	2,371
繰延税金資産	7,738	6,580
その他	1,012	4,355
貸倒引当金	△648	△736
流動資産合計	466,791	423,424
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,489	10,700
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	13,021	20,457
土地	16,284	16,284
リース資産(純額)	28,646	22,483
建設仮勘定	—	40,462
有形固定資産合計	63,442	110,388
無形固定資産		
ソフトウェア	9,692	21,623
ソフトウェア仮勘定	5,210	8,411
電話加入権	917	917
無形固定資産合計	15,820	30,953
投資その他の資産		
出資金	80	70
差入保証金	25,472	36,025
繰延税金資産	608	590
その他	98	98
投資その他の資産合計	26,259	36,784
固定資産合計	105,522	178,126
資産合計	572,314	601,550

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,383	3,547
短期借入金	30,000	—
1年内返済予定の長期借入金	20,004	20,004
リース債務	8,506	7,395
未払金	21,379	19,341
未払費用	10,990	12,374
未払法人税等	62,352	32,856
未払消費税等	6,539	17,660
賞与引当金	13,395	7,611
その他	1,563	6,455
流動負債合計	180,114	127,247
固定負債		
長期借入金	76,662	63,326
リース債務	22,861	17,405
固定負債合計	99,523	80,731
負債合計	279,638	207,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	29,180	29,180
利益剰余金	213,495	314,391
株主資本合計	292,675	393,571
純資産合計	292,675	393,571
負債純資産合計	572,314	601,550



## (2) 四半期損益計算書

(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	562,376
売上原価	165,430
売上総利益	396,945
販売費及び一般管理費	231,671
営業利益	165,274
営業外収益	
受取利息	19
受取配当金	1
仕入割引	221
営業外収益合計	242
営業外費用	
支払利息	1,494
雑損失	1
営業外費用合計	1,496
経常利益	164,020
税引前四半期純利益	164,020
法人税、住民税及び事業税	61,949
法人税等調整額	1,175
法人税等合計	63,124
四半期純利益	100,895

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記事項)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、単一セグメントですので、記載は省略しております。